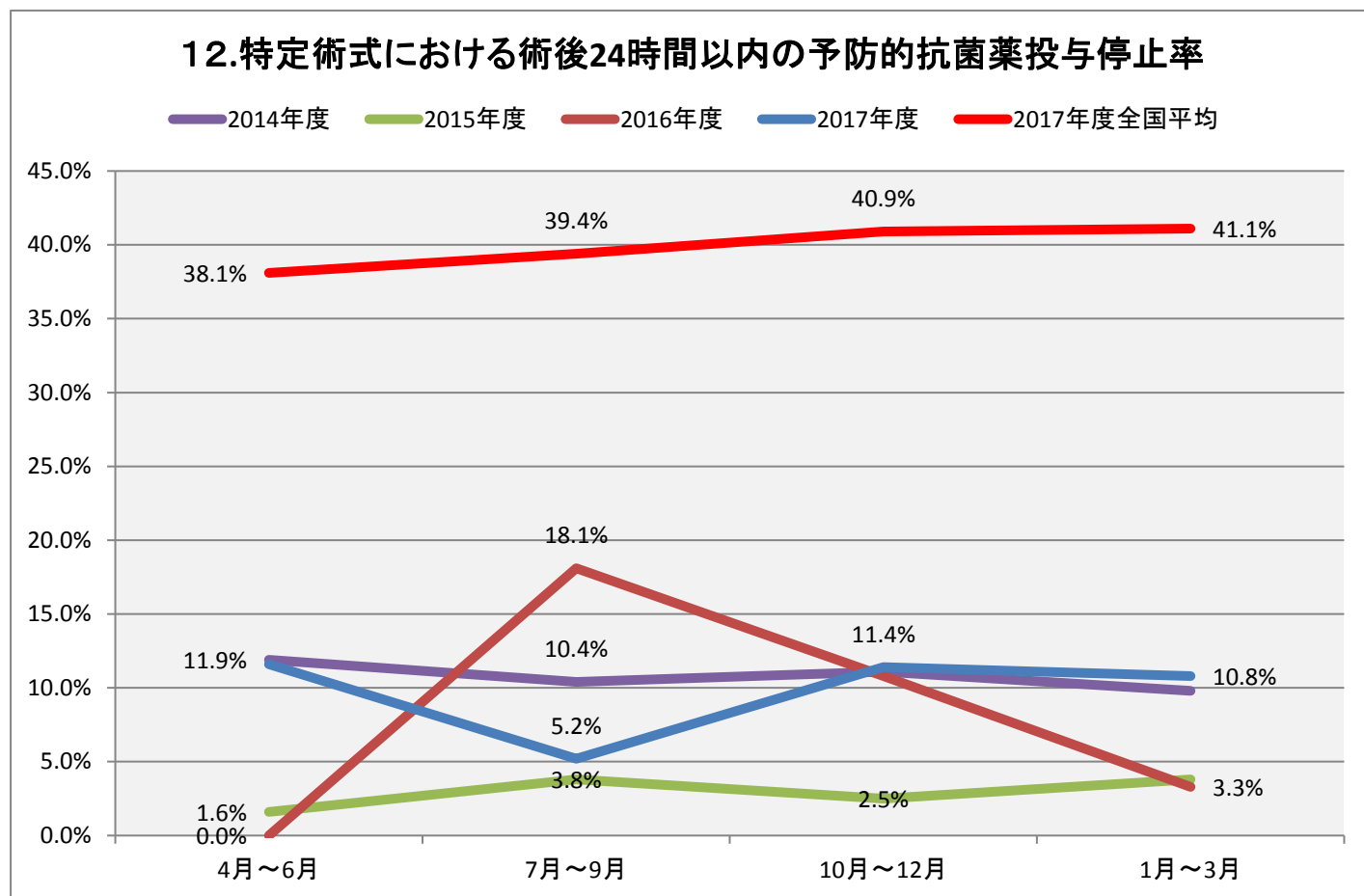


12. 特定術式における術後24時間以内の予防的抗菌薬投与停止率

(1) 調査結果



調査期間	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月
2017年度	11.6%	5.2%	11.4%	10.8%
2016年度	0.0%	18.1%	10.8%	3.3%
2015年度	1.6%	3.8%	2.5%	3.8%
2014年度	11.9%	10.4%	11.1%	9.8%
2017年度全国平均	38.1%	39.4%	40.9%	41.1%

(2) 指標の説明 手術後に、手術部位感染が発生すると、入院期間が延長し、入院医療費が増大します。その予防策の一つとして、手術前後の抗菌薬投与があります。手術開始から終了後2～3時間まで、体内の抗菌薬濃度を適切に保つことで、感染を予防できる可能性が高くなります。

(3) 定義 分子：術後24時間以内に予防的抗菌薬投与が停止された手術件数
分母：特定術式の手術件数

※特定術式…股関節人工骨頭置換術、膝関節置換術、大腸手術、子宮全摘除術、冠動脈バイパス術、その他の心臓手術、血管手術

(4) 考察 投与停止率が低く推移しており、各診療科および院内感染防止対策委員会とともに、適正な抗菌薬の使用に努めていきます。